

## 【DTS】デジタルツインで製造現場を即時把握、改善サイクルを加速へ 第3弾、2つの新製品投入でデータ活用ソリューションがさらに進化

株式会社DTS(東京都中央区、代表取締役社長 北村 友朗)は、2022年11月1日よりデジタルツイン/AI型第3世代ビジネス・インテリジェンス(以下、BI)ソリューション「Geminiot(ジェミニオ)」と、製造業データ活用ソリューション「Pasteriot.mi(パステリオ エムアイ)」の販売を開始します。

DTSでは2022年4月よりデータ活用ソリューションとして、それまで扱っていた工場IoT「稼働アップNavi®Pro」に加え、データクラウド「Snowflake」とグローバルSCM「mcframe」の取り扱いを開始し、今回2つの自社開発ソリューションをラインナップに加えました。これらを組み合わせることで、これまでビジネス課題の説明・検証段階にとどまっていたデータ活用を高度化し、ビジネス課題の解決や新たなビジネス機会の創出を可能とする「DTS DataManagement Solution」(DTS DMS)に発展させ、お客様のDXを一歩先の新たなビジネス創造へと導きます。(ソリューションサイト※:<https://dts-dms.com>)

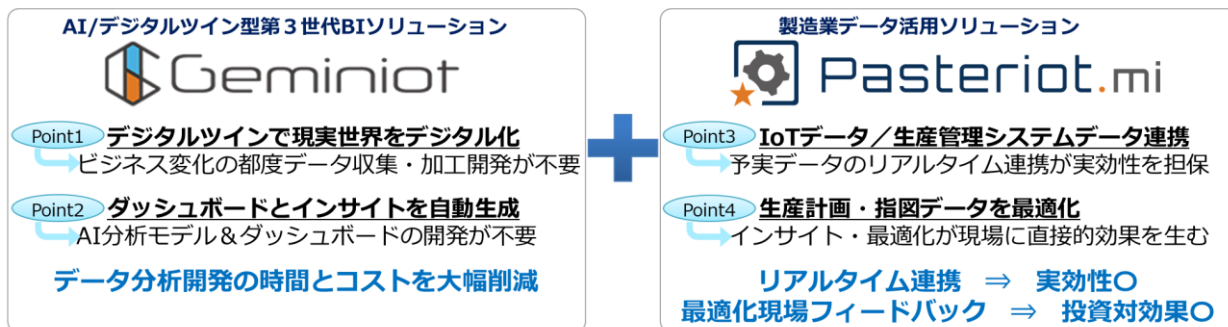
販売開始に先駆け、2022年10月19日(水)から2022年10月21日(金)に東京ビッグサイトで開催される「スマートファクトリーJapan 2022」に Geminiot と Pasteriot.mi を出展します。

※データ活用ソリューション等を紹介していたWEBサイトを2022年10月3日にリニューアルオープンしました。

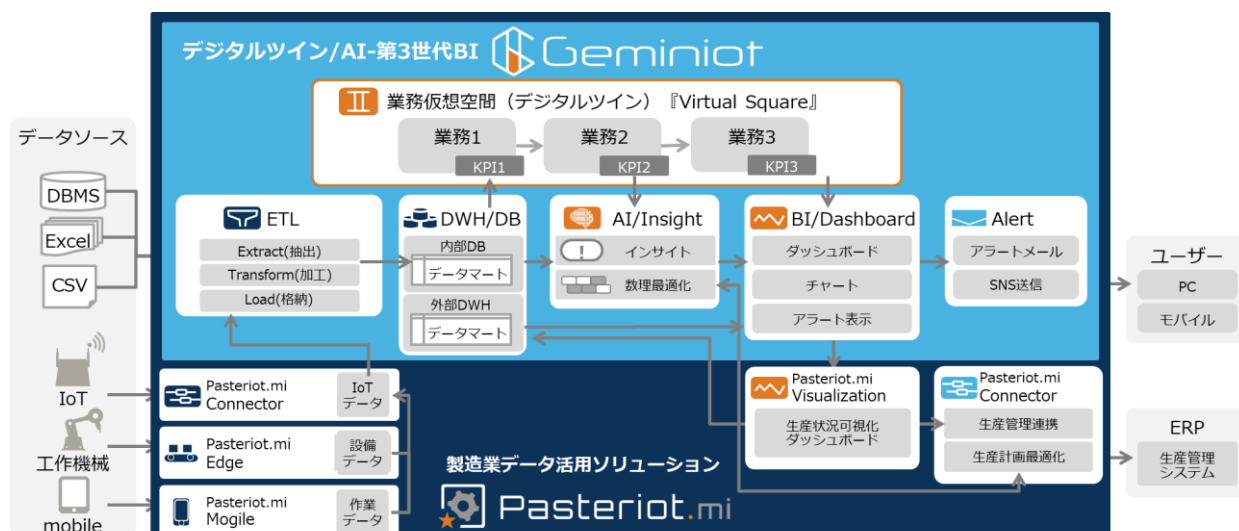
### 【データ活用ソリューション「DTS DataManagement Solution」のコンセプト】

#### < DTS DMS で一歩先のDXを実現 >

- デジタルツインとAI分析モデル自動生成がインサイトをブッシュ、分析プロセス革新とコスト削減
- データ可視化に留まらず、現場フィードバックまでの改善サイクルが高い投資対効果を創出



## 【新製品 デジタルツイン/AI 型第3世代 BI「Geminiot」、製造業データ活用ソリューション「Pasteriot.mi」】



### ■データをつなぐだけでAI分析モデルとダッシュボードを自動生成できる Geminiot

従来の BI では意思決定者の仮説を証明するためにデータの収集・加工、統計的処理や可視化のための高度な開発を行う必要があり、専門の技術者によるセルフサービス BI を用いた開発は多大な時間とコストを必要としました。

Geminiot は、デジタルツイン機能を搭載し業務と KPI を設定することができ、内蔵のデータ加工機能で簡単にデータをつなぐだけで AI 分析モデルとこれに関連するダッシュボードを自動生成します。意思決定者は日々移り変わるビジネス上の課題に自らの手で迅速に向き合うことが可能となります。

### ■Geminiot を組み込み、さらに進化した製造業向けデータ活用ソリューション Pasteriot.mi

生産現場では IoT による生産状況の見える化だけでは効果を説明することができず、生産管理システム主導のカイゼンでは実績データのリアルタイム収集などに課題があり、実効性と投資に見合った効果の伴う DX の取り組みがうまく進みませんでした。

製造業データ活用ソリューション Pasteriot.mi は、Geminiot をコア機能として、製造業向けの IoT データ入力インターフェース、生産管理システム連携機能をパッケージングしています。IT (インフォメーションテクノロジー) と OT (オペレーションテクノロジー) のデータを一元管理し、AI がインサイトを導き出し生産管理システムを通して現場にフィードバックすることで、実効性・投資対効果の高い製造業 DX を実現します。

### <Geminiot/Pasteriot.mi でできること>

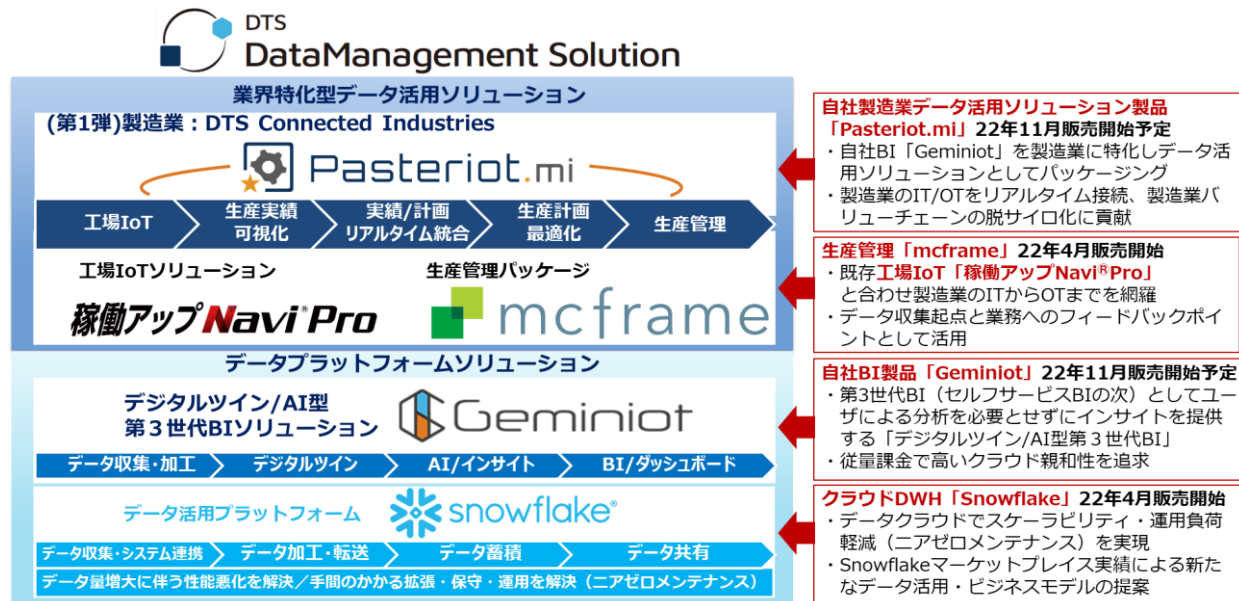
#### デジタルツイン/AI-第3世代BI Geminiot

- ①デジタルツインを作成しリアル業務をデジタル化
- ②ETL (データ抽出/変換/格納) 機能によるデジタルツインへのデータ接続
- ③AI/Insight機能による業務KPIに対するAI分析モデル自動生成
- ④BI/Dashboard機能によるダッシュボード自動生成

#### 製造業データ活用ソリューション Pasteriot.mi

- ①IoT/PLC機器を接続し設備データを取得
- ②スマホ/タブレットアプリで生産実績を登録
- ③業務上のKPIを設定しAIで自動分析
- ④AI自動分析の関連情報をダッシュボードに自動生成
- ⑤生産状況を可視化する分析テンプレート
- ⑥生産指図を最適化

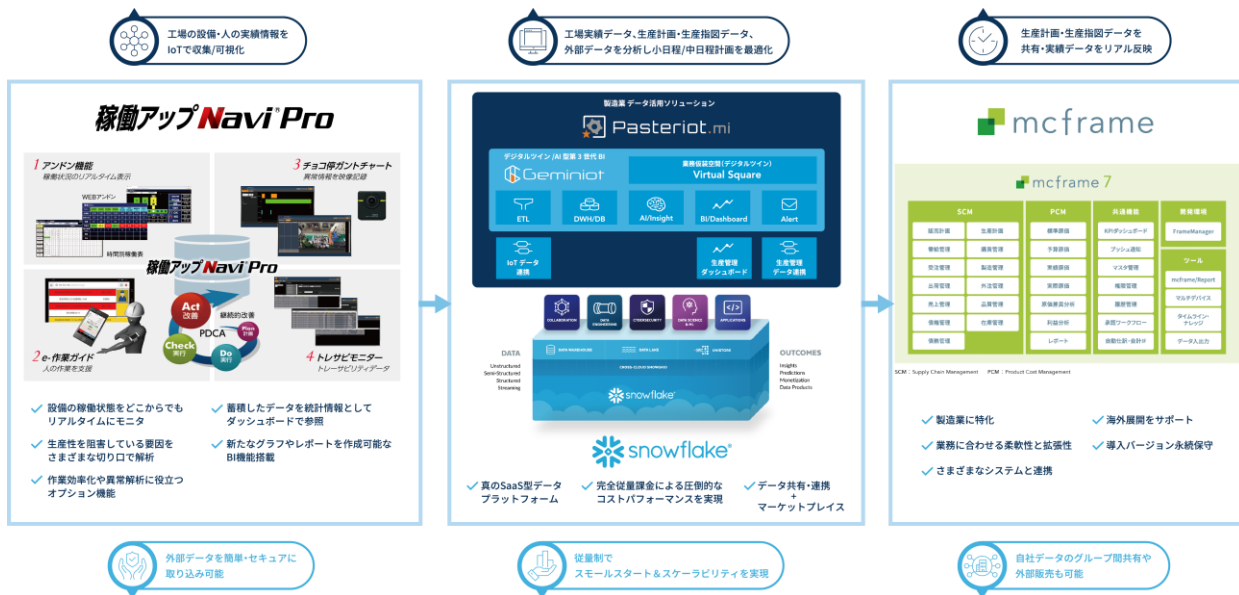
【第3弾 自社製品 Geminiot、Pasteriot.mi を加え、さらに高度化したデータ活用ソリューション】



DTS DataManagement Solution は、データ活用のキーテクノロジーを提供する「データプラットフォームソリューション」と、業種・業界に特化したデータ活用を提供する「業界特化型データ活用ソリューション」の 2 層構造で技術や業界トレンドに追従した最先端の DX を追求します。

業界特化型データ活用ソリューション第1弾はDTSが従前より取り組んできた製造業「DTS Connected Industries」。稼働アップ Navi<sup>®</sup>Pro と mcframe を Pasteriot.mi が連携し、インサイトを現場へフィードバックします。

<DTS DataManagement Solution の活用イメージ>



■DTS DataManagement Solution の活用で実現できること

- ・[製造]工場の設備・人の実績情報を IoT で収集/可視化
- ・[製造]生産計画・生産指図データを共有・実績データをリアル反映
- ・[製造]工場実績データ、生産計画・指図データ、外部データを分析し小日程/中日程計画を最適化
- ・[データプラットフォーム]BI/DWH とともに従量制でスモールスタート&スケーラビリティを実現
- ・[データプラットフォーム]外部データを Snowflake の基盤で取り込み自社の業務に活用
- ・[データプラットフォーム]自社データを Snowflake の基盤でセキュアにグループ間共有、社外販売も可能

## 【スマートファクトリーJapan 2022 に出展】

### ■開催概要

スマートファクトリーJapan2022

開催日:2022年10月19日(水)~10月21日(金)/3日間

会場:東京ビッグサイト 西ホール

ブース No.:F-45

主催:日刊工業新聞

### ■展示内容

データ活用ソリューション DTS DataManagement Solution を構成する以下のソリューションを展示します。

- ・[新製品] デジタルツイン/AI型 第3世代 BI「Geminiot」
- ・[新製品] 製造業データ活用ソリューション「Pasteriot.mi」
- ・データクラウド「Snowflake」
- ・グローバル SCM「mcframe」
- ・工場 IoT ソリューション「稼働アップ Navi®Pro」

### ■セミナー

開催期間中以下2回の講演を予定しています。

題目:投資対効果を生むDXとは? ~デジタルツインが現場を変える~

開催日時・場所:①2022年10月19日(水) 14:30~15:10 セミナー会場C

②2022年10月21日(金) 11:30~12:10 セミナー会場C

私共は自社BI製品の開発・販売を通じて約20年間、様々なお客様のデータ活用をご支援させていただいております。この中で「可視化の効果は?」という課題に直面することが度々あり、現場の課題解決や導入効果までご提案することの重要性を感じながら日々製品開発に取り組んでまいりました。私共が考える「投資対効果を生むDX」「新たなビジネスを創造する一歩先のDX」をご提案させていただきます。

株式会社DTS  
デジタルソリューション事業本部  
アドバンスソリューション担当

ソリューション  
統括マネージャー  
木村 巨治



プロダクト  
マネージャー  
大田尾 一作



### 【mcframe について】

mcframe は生産・販売・在庫・原価管理等の各種機能を提供し、組立加工からプロセス製造、個別受注生産まで対応可能な製造業向け SCM(サプライチェーンマネジメント)パッケージです。1996年の販売開始から世界17か国2,000サイト、1,000社以上の導入実績を誇る、製造業デジタルソリューションです。

<https://dts-dms.com/alliance/#mcframe>

### 【稼働アップ Navi®Pro について】

稼働アップ Navi®Pro は生産現場の設備・人・情報をつなぐ Jtekt IoE Solution のラインナップの一つで、センサーや PLC などから収集したあらゆる設備の情報を可視化し改善に必要な情報に解析する、トヨタ生産方式に裏付けられたノウハウの詰まったソリューションです。

<https://dts-dms.com/alliance/#kadoupro>

### 【Snowflake について】

Snowflake は、データクラウドによって、あらゆる組織がデータをモバイル化できるようにします。お客様はデータクラウドを使用して、サイロ化されたデータの統合、データの発見と安全な共有、多様な分析ワークロードの実行を実現します。データやユーザーのロケーションに関係なく、Snowflake は複数のクラウドや地域にまたがる単一のデータエクスペリエンスを提供します。



<https://dts-dms.com/alliance/#snowflake>

## 【DTSが目指す DX 社会の実現に向けて】

DTSグループは業種・業界に合わせたデータ活用ソリューションを提供していくことを通して、時代と共に移り変わるデータ活用の真の価値を追求しお客様にお届けしていきます。

DTS DataManagement Solution は、今後のDTSのデータ活用ソリューションの方向性を具体的な形にしたソリューションです。データ活用のキーテクノロジーとなるデータプラットフォームソリューションと製造業特化型データ活用ソリューション DTS Connected Industries をそれぞれ深化・発展させつつ、他の業種・業界に向けても同様のフレームワークで業界特化型データ活用ソリューションを順次提供していきます。

「データ活用のデファクトスタンダードを日本から」DTSは自社開発製品で独自性を追求しながら他社製品とも幅広く連携・協業し、より多くのお客様に DX の真の価値を提供し続けていきます。

## 【関連ニュース】

[第1弾、スノーフレイクとの提携によるデータ活用プラットフォームの実現]

<https://www.dts.co.jp/news/2022/press-20220527.php>

[第2弾、生産管理パッケージ mcframe と工場 IoT で製造業向けデータ活用を実現]

<https://www.dts.co.jp/news/2022/press-20220721.php>

※mcframe のロゴ、および本書に記載されているその他すべての mcframe の製品、機能、サービス名は、ビジネスエンジニアリング株式会社の登録商標または商標です。

※稼働アップ Navi<sup>®</sup>Pro のロゴ、および本書に記載されているその他すべての稼働アップ Navi の製品、機能、サービス名は、株式会社ジェイテクトの登録商標または商標です。

※ snowflake のロゴ、および本書に記載されているその他すべての Snowflake の製品、機能、サービス名は、米国およびその他の国における Snowflake Inc.の登録商標または商標です。

※Geminiot のロゴ、および本書に記載されているその他すべての Geminiot の製品、機能、サービス名は、株式会社DTSの登録商標または商標です。

※Pasteriot.mi のロゴ、および本書に記載されているその他すべての Pasteriot.mi の製品、機能、サービス名は、株式会社DTSの登録商標または商標です。

## 【株式会社DTSについて】

株式会社DTSは金融や通信をはじめ、幅広い業種・業態のお客様にコンサルティングから設計、開発、基盤構築、運用まで IT システムに関わるさまざまなサービスを提供しています。

本社所在地: 〒104-0032 東京都中央区八丁堀 2-23-1 エンパイヤビル

<https://www.dts.co.jp/>

<本件に関する問い合わせ先>

株式会社DTS デジタルインテグレーション事業部 担当:伊東、須田

TEL: 03-6914-5569 E-mail: solution@dts.co.jp

<報道機関からの問い合わせ>

株式会社DTS 広報部 担当:熊田 新貝

TEL: 03-6914-5463 E-mail: press@dts.co.jp